



八小だより

武蔵村山市立第八小学校 令和3年3月1日

<http://www.city.musashimurayama.lg.jp/mmced8s/index.html>

- ◎ 考える子
- 思いやりのある子
- やりとげる子
- 礼を重んずる子



行動目標

わけをそえて話すことができる子
教室で話しているのは一人

コロナ禍の1年間を振り返る

校長 牧 一彦

校庭の梅の花が満開となりました。まだまだ寒い日もありますが、確実に季節は春へと向かっています。「2月から段階的にこれまでの教育活動を再開する」という市教育委員会の方針に基づき、「新しい生活様式」を遵守しつつも、通常の学校生活がもどりつつあります。休み時間には多くの子どもたちの明るく元気な声が響いています。

緊急事態宣言下で始まった令和2年度。4月6日(月)に入学式と始業式を実施しましたが、その後は課題の配布・回収を除き5月24日まで休校が続きました。5月25日から2週間の分散登校を経て、6月15日(月)からやっと通常の学校生活を始めることができました。再開当初は、長い休みとコロナ感染の不安などの影響からか、教室内でもどこことなく元気のなかった子どもたちも、7月に入る頃からは次第に元気を取り戻していきました。5月に予定していた運動会は10月に延期。種目を制限し、午前中を2回に分けての分散開催でした。音楽会も市民大ホールでの実施を断念し、学年毎の発表会となりました。6年生の移動教室は、最後まで実施できるか判断に迷いましたが、雪に閉ざされる直前の丸沼高原と日光の自然を楽しむことができました。3学期に入ると2度目の緊急事態宣言により再び多くの教育活動が制限され、本日に至りました。

そんなコロナに始まりコロナで終わる、本当に残念な1年間でしたが、「子どもたちの学びを止めてはいけない」という一心で、可能な限り通常の教育活動ができるよう最大限の努力をしてきたつもりです。子どもたちにとって、長い人生の中では「わずか1年」かもしれませんが、小学校生活6年間の中での1年間は、とても「貴重な1年間」です。学習においても、人間形成においても、この1年間の影響が少しでも軽減できるように、今後も努めていかななくてはならないと考えています。保護者・地域の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

さて年度末を迎え、学校では様々な角度から今年度の教育実践の反省を行い、次年度に向けた教育計画を立てています。現時点でほぼ確定している変更点については、以下のとおりです。(詳細につきましては、保護者会で配布した資料をご覧ください。)

<令和3年度教育計画の主な変更点(予定)>

1. **新教科「徳育科」の実施(平成31~33年度文部科学省教育課程特例校)**
 - ・次年度も本校独自の新教科「徳育科」の授業を、各学年で年間40時間実施します。
2. **運動会について(10月2日・土曜日実施予定)**
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う対応により来年度も秋季実施とします。
 - ・令和元年度まで行っていた第6学年の組体操は、安全上の理由により行いません。
3. **学習発表会(学芸的行事)について(11月26・27日実施予定)**
 - ・現時点では、学芸的行事(演劇・学習内容の発表等)を本校体育館で実施予定です。
4. **児童の写真掲載(学校だより・学校ホームページ等)・テレビ取材等について**
 - ・写真掲載・テレビ放映等に御協力いただけるかどうかについては、全校の保護者に確認書を提出していただく予定です。
5. **校内のきまりの確認事項**
 - ・健康・安全上の理由により登下校時は全員帽子(1・2年生は黄色の帽子)を着用する。
 - 今後段階的に、入学時に購入の黄色の帽子を「校帽」として定着させていきます。
6. **携帯電話の所持等について**
 - ・携帯電話の校内への持ち込みは禁止です。(やむを得ない事情により持ち込む場合は、今後、破損・紛失等の責任所在に関する誓約書の提出が、必要となります。)